

株式会社タケウチ建設

広島県三原市

常にもう一歩先の「安全・安心」の技術確立に努め ローコストな工法の研究開発に取り組む建設企業

店舗・工場・住宅などの建築物の基礎構造や建設・施工に関する新技術・工法を研究し、開発した技術を利用して建築物の設計から施工まで行う企業である。研究開発で目指すのは、建築物のより安全・安心化と工事のローコスト化。TNF工法をはじめとする多数の開発技術は、特許を取得して他社にも公開し、その施工管理も手掛ける。同社の開発技術のメリットは、市場に広く認知され、施工実績は1,500棟超におよぶ。家庭的雰囲気や新技術へのチャレンジを経営方針に掲げる同社では、外国籍社員が約4割を占める。

所在地 広島県三原市円一町4丁目2番14号
電話／FAX 0848-60-1331／0848-62-6973
URL <https://www.takeuchi-const.co.jp/>
代表者 代表取締役 竹内 謙治

設立 1990年
資本金 5,000万円
従業員数 70人



「TNF工法」は、ローコストで安定的かつ環境にやさしい画期的な基礎工法

TNF工法の特許名称は「地盤改良体及びべた基礎からなる建築物の基礎の構造ならびに地盤改良べた基礎工法」。建物直下の地盤を井桁型に改良し、基礎と地盤改良層を一体化した井桁状の直接基礎構造を作り、建物を面で支えるもの。建物に地下の揺れが伝わりにくく、杭打ちが不要なので施工費用・工期を大幅抑制できるため、実績は全国で堅調に増えている。他にも、ローコストで安定的かつ環境にやさしいT-BAGS減震工法やTNF工法の応用も含め、12の独自技術を開発し特許を取得済である。



ローコストで安定的かつ環境にやさしいTNF工法

「TNF工法協会」を設立して、知的財産を守りつつ普及促進

東日本大震災では、TNF工法による建物と杭基礎による建物の被害状況に違いが見られ、TNF工法の減震効果と有用性が確認された。2011年に同社が設立したTNF工法協会では、協会会員の企業のみに特許工法群に関する施工実施権や販売権を許諾している。こうして、TNF工法などの独自の知的財産を囲い込んで守りつつサービス提供することで、ローコストで、同技術の建設業界全体への普及・ブランド化推進を図るとともに、会員間の技術力向上や業界の適正な発展に貢献している。



多数企業の参加を得たTNF工法協会

独自技術の海外への普及を目指して、まずはベトナムに現地法人を展開

ベトナムは、平野部のほとんどが軟弱地盤帯に位置し、急激な経済発展の影響で地盤沈下による建物被害が深刻な問題となっているため、TNF工法の効果が期待される。海外初のTNF工法案件を同国で請け負ったときにそのことを知った同社は、今後の東南アジアでの事業展開を見据えて、2016年にベトナムに拠点を設立した。現在国内では、ダイバーシティ経営を推進する一環で、多国籍社員を正社員として雇用するとともに、ベトナム現地法人では、本格稼働を目指して、現地技術者の育成を進めている。



日本で活躍する外国籍社員